



ウチダデザインスタジオ
代表 内田 秀行 さん

長崎の文化資産を形に。デザインで、長崎を発信したい

今回のがんばってますは、パッケージやパンフレット等の編集、商品開発など「販わいをつくるデザイン」で長崎の文化の発信に力を注ぐ、ウチダデザインスタジオの代表 内田秀行さんをご紹介します。



絵 描きの夢からデザインの道へ
幼いころから、絵を描くことが好きだったという内田さん。18歳のとき東京の美術団体展に出品し、初入選したことをきっかけに絵描きの夢を抱いた。それから絵の腕をみがきながら「自分の絵を生かす幅を広げたい!」という思いから、デザインの道を進むことを決め、広告代理店に入った。「当時は、コンピュータの時代ではなく、テレビのテロップを手書きするなど、手作業で仕事を進めることが多く大変でした。しかしながら、その中で広告を利用したものを売るノウハウを学び、『デザインで伝えること』の面白さを知りました」
そして、入社から5年後に独立を決意、三十歳の時に地元・長崎で「ウチダデザインスタジオ」を立ち上げた。

ま ちをデザインする
「独立した当初から様々な出会いに恵まれ、チラシの作製や編集・デザイン等の仕事に携わることができました」。平成7年には、異業種5社でスタートした「長崎マルチメディア事業協同組合」に参加し、他社に先駆けて県や市、一般企業のホームページのコンテンツの制作を手掛けて

セプトとした風呂敷を使ったパッケージデザインをした。
「クライアントとのやり取りでは、提示された条件に合った案と、「自分はこう思う」というもう一案を出すことを心がけています。企業の特徴を引き出し、最終的にお互いが「これ面白いね!」と言えるようなコラボ展開を今後もやっていきたいです」と笑顔で抱負を語った。

長崎の文化資源を発信したい! 企業の魅力を引き出したデザインをお願いしたい! という方は、ぜひウチダデザインスタジオをお尋ねください!!

また、平成20年からは、老舗も多く存在する浜町を中心に長崎市の文化を発信したいという思いで、浜町の商店街などの方々と「マスカ(浜町ストリートカルチャー)実行委員会」を発足。「毎月の情報誌の発行をはじめ、映画祭や音楽イベント、アートギャラリーなどに携わってきました。忙しい時期は毎週のイベントで休みのない年もありましたよ」と当時を振り返る。

このほか、自社としても、浜町以外の商店街や自治体などでもリーフレットやチラシの作製を手掛けており、地域の特徴を生かすために自ら取材し、マップづくりや写真、コメント記事などすべて一人でこなすこともあるという。
こうした活動を通して、地域の活性化に資する事業に積極的に関わっている。

長 崎カルチャーグッズの誕生
「常にクリエイティブであれ!」を信念とし、自身の思いを形にすることにこだわっていると

いう内田さん。そして、自分発信で地元のためにできることをしたい、という思いから、平成27年にNPO法人障害者就労支援センターアピリティとのコラボレーションで「長崎カルチャーグッズ」を誕生させた。
「長崎には多くの事始めや素晴らしい世界遺産、文化があります。そんな長崎の文化資源を、身近な存在である文房具や雑貨などにデザインすることでもっと、長崎を発信したいですね」
平成29年3月には、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産をモチーフに開発した長崎教会群定規(画像①)が、第48回長崎県特産品新作展奨励賞を受賞。さらなる新作やパリエーションの幅を広げることに意欲を燃やしている。

コ ラボレーションデザインで発信の輪を広げたい
最近では、五島列島酒造とNPO法人世界遺産長崎チャーチトラストによるコラボレーションの商品で、「心のこもった土産、贈り物」をコン



① 第48回長崎県特産品新作展奨励賞を受賞した「長崎教会群定規」(800円・税別)は、クリア、ブルー、木の種類がある。お土産品にどうぞ!
② 「長崎事始めテンプレート」(各種1,000円・税別)。出島を形とした定規であり、日本の「最初の一歩」をかたどった長崎カルチャーグッズ
③ 「本格焼酎五島麦・五島芋(300mlセット)」は、風呂敷をパッケージとしたデザインになっている

Information



ウチダデザインスタジオ
〒850-0861 長崎市江戸町5-6 明和ビル6階
☎ 095-825-1648
FAX 095-893-6633
HP <http://uchidaweb.com>
営 9:00~19:00
休 日曜・祝日